

令和7年度 学校評価アンケート結果(数値評価)

4:そう思う 3:どちらからというと思う 2:どちらかというと思う 1:そう思わない

領域等	評価の観点	評価項目	実践目標	教職員自己評価	生徒	評価	学校関係者(保護者等)	評価		
学校運営	共通項目	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	学校ホームページの更新、学年通信の発行等を通して、保護者や地域に必要な情報を提供する。	3.38	学校ホームページや学年通信等で、必要な情報が得られている。	3.20	学校ホームページや学年通信、携帯メール等で、必要な情報が伝えられている。	3.30	
			地域や関係機関と連携した愛される学校づくり	各種行事や授業公開等の案内を発信し、保護者や地域と連携した教育活動を展開する。	3.35			北摂三田高校は、地域に開かれた学校だ(と感じる)。	3.18	
		生徒指導	生徒の内面理解を図る指導の工夫	生徒の内面理解に努め、特別な配慮や支援を要する生徒の把握と、いじめの未然防止、早期発見・早期対応につなげる。	3.32	先生方には、不安や悩み事等を気軽に相談できる雰囲気がある。	2.94	教職員は子どもの気持ちに寄り添い、共感的に話を聞いてくれている。	3.11	
			生徒の自主・自律の精神を育む指導の工夫	特別活動や部活動において、生徒の自主的・自発的な態度と運営能力の育成を図る。	3.26	学校行事やホームルーム活動には積極的に参画(参加)・協働(協力)している。	3.42	子どもは各種学校行事(や部活動)を楽しみにしており、積極的に参加している。	3.56	
		進路指導	進路指導体制の充実	3年間を見据えた計画的な進路HR・進路行事の実施と、有益な情報提供に努める。	3.12	進路選択や進路実現に向けた学習支援や行事、個別面談が充実している。	3.19		子どもの主体的な進路選択や進路希望の実現に向けて、必要な支援や情報提供が行われている。	3.01
			職業観・勤労観の育成と進路意識の向上	多分野の専門家に触れる機会を設けることで生徒の興味関心の対象を広げ、高校段階でのキャリアアンカーを育む。	3.12	各種進路行事を通して、自分自身の生き方や働き方について考えることができています。	3.06			
	教職員の資質向上	計画的な研修の実施と実践的指導力の向上	計画的に多彩な研修の場を設けることにより、教職員の同僚性を築き、組織の力を高める。	2.82						
	危機管理体制の整備	実効ある学校マニュアルの策定	学校安全三領域(生活・災害・交通)や情報管理において、定期的・日常的な点検を実施し、様々な危機の予防に努める。	3.00	安全で安心できる学習環境・通学環境が整っている。	3.35				
	選択項目	学校運営全般	専門部の業務と学年・学級経営	スクール・ミッション、スクール・ポリシーを踏まえた各部・各学年の活動方針を定め、その実現に向けて協働する。	3.24	学年の先生方の思い(どんな生徒に育つことを望まれているか)を、ほぼ理解している。	2.91	子どもの学年の経営方針(どのような生徒を育てたいのか)を、ほぼ理解している。	2.88	
			働きがいのある学校づくり	自身のワーク・ライフ・バランスと、生徒と向き合う時間の確保を意識し、業務の改善と効率化に努める。	2.91	ゆとりのある温かい態度で生徒と向き合ってくれる先生が多い。	3.23			
教育課程	共通項目	自ら学び自ら考える力の育成	体験的・問題解決的な学習の展開	生徒の学習意欲を喚起し、可能性を引き出すため、多様な他者との協働を取り入れた学習活動を行う。	3.03	興味や関心、意欲をもって、主体的に取り組むことのできる授業が多い。	3.02	*1学年保護者対象 子どもは、入学時と比較して学習意欲が高まり、自らの「志」の実現に向けて努力している。	1学年	
		基礎・基本の定着	学ぶ喜びや達成感が味わえる指導方法の工夫	研究授業や授業公開の実施等、教員が切磋琢磨できる環境を整え、授業改善に取り組む。	3.32				3.09	
		総合的な探究の時間(「三索」・「人間科学」)	教職員の協働体制の確立	生徒の探究活動を支援し、将来の学習や研究の基盤となる能動的学習態度の育成に努める。	3.09	総合的な探究の時間は、課題発見能力や課題解決能力を高めるのに役立つ。	2.99	*2・3学年保護者対象 子どもは、前年度と比較して学習意欲が高まり、自らの「志」の実現に向けて努力している。	2・3学年	
		個に応じた学習指導の徹底	評価方法の創意工夫	より望ましい観点別評価、特に「主体的に学習に取り組む態度」の評価の在り方について研修する。	2.44	生徒一人一人の実態に応じて、きめ細かな学習指導が行われている(と思う)。	2.78		3.35	
	項選目	特別活動(学校行事など)	学校行事の精選と行事内容の充実	各種行事の立案・実施に際し、「前年(例年)どおり」で済ませることなく、不断の見直しを行う。	2.97					
課題教育	共通項目	防災・安全教育	教職員の防災教育に係る指導力・実践力の向上	防災訓練実施や救命講習受講等により、「まず生徒の生命を守る」という教職員の意識と技能を高める。	2.94	防災に関する訓練や授業等を通して、防災・減災の意識を高めることができる。	2.91			
		人権教育	確かな人権意識の育成	学校の教育活動全体を通して、生徒の発達段階や関心に応じた人権教育に、計画的に取り組む。	3.21	互いの違いを認め合い、自分も他者も大切にしようとする態度が身についている。	3.39	子どもには、違いを認め合い、自他の人権を尊重しようとする態度が備わっている。	3.44	
	項選目	情報教育	情報活用能力と情報モラルの育成	生徒がICT機器を適切に利用し情報を活用する能力と、人権尊重を基盤とした情報モラルを育成する。	3.15	SNS利用時は、ネットトラブルが起きないように、ルールやマナーを守っている。	3.69	子どもはネットの危険性を理解し、SNS利用時のルールやマナーを守っている。	3.32	
	学校独自項目	学校の個性化・多様化	高等学校DX加速推進事業	第2コンピュータ室の有効活用と、情報Ⅱに代わる科目の授業内容充実	2.32					
グローバル社会に通用する能力の育成			姉妹校との交流を通じて生徒の国際的視野を広めるとともに、外国語で意思疎通を図ろうとする態度を育成する。	3.15	オーストラリア姉妹校との交流は、グローバルな視点を身につけるのに役立つ。	3.41	オーストラリア姉妹校との交流は、魅力と特色のある取り組みである。	3.41		